

番号	1-1-2	表題	バス試験走行により、駅前ロータリーを発進立坑用地として活用した枝線の設計事例	
内容	<p>下水道局では、早期に浸水被害を軽減するため浸水の危険性が高い地区を重点化して施設整備を進めている。重点地区の一つである杉並区阿佐谷地区では、駅前ロータリー内のバス停を移設し、発進立坑を築造する必要があった。ロータリーには3つのバス停があり、時間最大30台を超える路線バスが運行する非常に交通量が多い場所となっている。このため、バス事業者立会いの下、処理場内に実寸大でロータリーを再現し、試験走行を行うことでバスが安全に通行できる線形や通行幅等を確認した。</p> <p>本稿では、ロータリー内に立坑を築造する設計内容について、試験走行を踏まえた対応策を実現可能としたバス事業者との調整を中心に報告する。</p>			
キーワード	浸水被害 駅前ロータリー 発進立坑 試験走行			
処理区名	新河岸処理区	位置区分	管きよ	
職種区分	土木	施策区分	浸水対策	
状態区分	設計	新規性		
実施年度	令和4年度	全体期間	令和元年度～令和4年度	
担当部署	第二基幹施設再構築事務所 設計課 設計担当第二			
発表履歴	局内	令和4年度 設計・工事事例発表会		
	局外	令和5年度 第60回下水道研究発表会		
調査方法				
関連情報				